

萩ジオパーク

推進協議会だより vol.139

萩ジオパーク推進協議会

| 2026年9月30日発行 |

〒758-0041

山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階

☎ 0838-21-7765

☎ 0838-25-7767

✉ geo@city.hagi.lg.jp

🌐 https://hagi-geopark.jp

🌐 https://www.facebook.com/HagiGeoProject

📷 @hagi_geopark



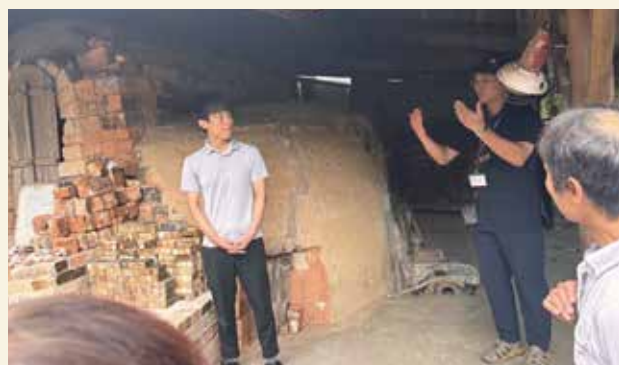
〇〇さんに 会いに行こう

～萩焼作家さんに会いに行こう～

9月5日(土)、「萩焼作家さんに会いに行こう」を実施しました。400年以上の歴史を持つ萩を代表する工芸品「萩焼」。萩焼の背景にある萩の大地と人の物語とは・・・？ 伝統を受け継ぐ萩焼作家さんは萩の地をどう感じて、どう暮らしている？。萩焼のはじまりの窯「坂 高麗左衛門窯」の坂 悠太さん（第十四世 坂高麗左衛門）に会いに行くまち歩きツアーです。

東光寺総門前を出発し、旧街道の石州街道を20分ほど散策して、坂窯に到着。まず、坂さんから萩焼の歴史について、お抹茶をいただきながら伺いました。初代から三世までの作は特に古萩と呼ばれ、窯周辺の土を採取して用いていたと考えられるそうです。次に、初代から歴代当主の作品が並ぶ展示室を見学しました。江戸時代から続く萩焼の窯元を受け継ぎ、その技術をさらに高めようと日々精進されている姿とまわりで支えている人々への感謝を忘れず、いつかその恩を返していきたいとおっしゃっていた坂さんの姿に心打たれる参加者も多かったのではないのでしょうか。

専門員からは、萩焼で使われる陶土がどのようにしてできたのか、萩の大地をつくった1億年前の超巨大火山活動と深い関わりがあるという解説があり、大地と人のつながりも感じていただけたことと思います。



「鳶の目線で楽しむヨガ」

笠山から望む海と島々の景色を「鳶の視点」で眺めながらヨガを行い、心と体を整え、景色の裏にある 新たな気づきにつながるひとときを提供します。

【日時】10月18日(日) 17:30～

【場所】笠山山頂展望台『鳶ノ巣』

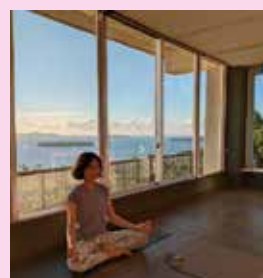
【料金】2,000円(ワンドリンク付)

【定員】(先着順) 6名

【協力】古谷まり子(ヨガインストラクター)

【申込・問い合わせ】10月1日(木)～10月14日(水) 17時までに、

萩ジオパーク推進協議会 HP より申込



「小鯖・大内こども地球の学校」を開催しました

8月21日、山口市の大内地域交流センターで「小鯖・大内こども地球の学校」を開催しました。大地の成り立ちを実験や観察で体験的に学ぶ「こども地球の学校」シリーズの一つで、小鯖・大内地域では初めての開催です。今年の夏は山口市の嘉川、平川に続いて3回目となりました。

会場には5つの実験コーナーを設け、雨や川のはたらき、地震や火山の活動によって大地がつくられ、変化していく仕組みを、子どもたち自身の手で確かめてもらいました。今回も山口大学の楮原准教授と学生の皆さんにご協力いただきました。参加した20名を超える小学生の皆さんにとって、身近な足もとの大地に目を向けるきっかけになったのではないのでしょうか。



学校対応

阿武小学校（9月1日）

阿武町の阿武小学校5年生を対象に出前授業を行いました。阿武町の「無角和牛」について学ぶ中で火山の話題が出てきたことから、もっと詳しく知りたいとご依頼をいただいたものです。阿武町には平らで小さな火山が多数あり、それが農業や漁業といった産業、人々の暮らしと深く関わっていること、かつて田畑で活躍していた無角和牛が、今は溶岩の上で放牧されていることを知ってもらいました。



見島中学（9月7日、14日－15日）

春から伴走している見島中学校の探究学習では、見島の土で焼き物に挑戦する生徒さんと、ちょうちん祭りを調べている生徒さんがいます。9月14日から15日には、その2名を含む3名が先生と一緒に萩に来てくれました。受け入れ先は、これまでの地域での活動でできたつながりを頼りに萩ジオパークで探しました。松林庵登陽窯の玉村さんに土から萩焼の粘土をつくる方法を、大谷提灯店の大谷さんに提灯のつくり方を、体験しながら教わることができました。



川上小学校（9月10日、16日）

川上小学校5・6年生の総合の授業にも伴走しています。9月10日には、11月のお祭りで自分たちが育てた藍の藍染め商品を売ろうと、商品開発会議を行いました。例年は何となく作っていましたが、今年は「本気で売れる商品を」という挑戦です。会場に来るのは誰で、何があれば買いたくなるのか。考え抜いて出た答えは「現役小学生が考えた、おばあちゃんが孫に買いたくなる、学校で使える商品」。11月1日の「川上ふるさとまつり」をお楽しみに。



周南公立大学（9月14日）

一般社団法人motibaseのお誘いで、周南公立大学のゼミ合宿の一部を担当しました。萩の町をジオパークの視点で歩き、大地と人のつながりを発見してもらう内容です。萩明倫学舎で古地図と地形図を見くらべ、萩の地形と城下町の関係に気づいてもらったうえで、道や建物がなく地形と川だけを描いた地図を手に、チェックポイントを探してもらいました。人々が何を考えて町を築き、どう暮らしてきたのか、その知恵に触れてもらいました。

新笠山コーヒー（秋）試飲会を「萩ジオパーク倶楽部」会員限定で開催！

9月5日（土）、「新笠山コーヒー（秋）」の試飲会を「萩ジオパーク倶楽部」会員限定で開催しました。笠山山頂展望台『鳶ノ巣カフェ』で販売されている「笠山コーヒー」が今年リニューアルされ、季節ごとに豆の産地が変わります。今回は、秋の季節に提供する新笠山コーヒーを、会員の皆様に一足先に味わっていただく限定イベントです。

まずは開発にご協力いただいた、萩ジオパークパートナーの「萩コーヒー・repos（ルポ）」の梅津さんよりコーヒーの説明がありました。秋はコスタリカの豆を使用し、あえて酸味をおさえて甘さとコクが出るよう焙煎し、秋にふさわしい、やわらかく深みのある味わいに仕上げていることなどの説明がありました。つづいて、白井専門員よりその産地の地形や土地の成り立ちなどの解説がありました。約200万年前、海底の巨大な山脈が現在のコスタリカとパナマの境あたりに沈み込み始め、それが大地を下から押し上げることで隆起し、急峻な山地ができ、昼夜の寒暖差というコーヒー栽培に適した気候をもたらしています。

カフェでの販売は9月12日から行っております。秋の季節にぴったりの味わいをお楽しみください。また「萩ジオパーク倶楽部」会員の方向けの限定イベントも随時開催しています。是非会員登録もお願いいたします。



笠山山頂展望台『鳶ノ巣』で夕日を見よう！2026

笠山山頂展望台『鳶ノ巣』で、この時期の美しい夕日の景色を楽しんでもらうため、2階カフェと3階展示休憩室の営業時間を延長します。また夕方限定のカフェメニューも販売します。

■延長期間

10月6日（火）～11日（日）18：00まで

※カフェオーダーストップ17：30分

※通常はカフェ10：00～16：00、展示休憩室17：00まで

■夕方限定カフェメニュー

「笠山サンセットクリームソーダ」

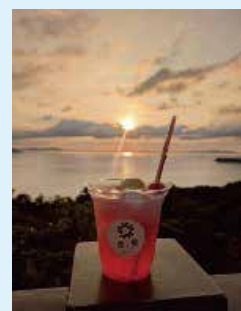
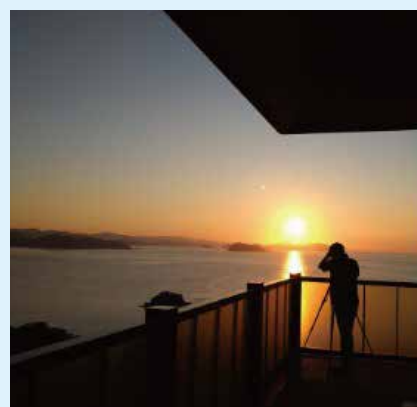
・日時：10月6日（火）～11日（日）15：00～18：00

※オーダーストップ17：30

・場所：2F カフェ

・価格：500円

※その他、展望台からの見どころを音声解説（3F）



日本ジオパークネットワーク全地域事務局長会議に参加しました！

8月24日（月）～25日（火）の2日間、宮城県の栗駒山麓で開催された「2026年度日本ジオパークネットワーク全地域事務局長会議」に、堀事務局長が出席しました。日本ジオパークネットワーク（以下「JGN」）は、国内でジオパークに認定されている地域や認定をめざす地域をサポートし、ネットワーキングの軸となるNPO法人です。会議の期間中は東北地方としては珍しい猛暑となりましたが、栗駒山麓ジオパークビジターセンターの見学やジオパートナーによる郷土料理を味わう場も設けられた上、全国の事務局長との活発な意見交換が行われました。

会議では、JGNが行うPRイベントは対象を明確にした上で食や地域資源など親しみやすいテーマを活用していく方向性が共有されたほか、被災地支援のあり方について協議が行われました。また、JGN事務局の人員・財源確保といった運営体制の課題についても論議され、今後2年内をめどに体制のあり方を検討するタスクフォースを設置することとなりました。



とかち鹿追ジオパークへ行ってきました

とかち鹿追ジオパーク（北海道）からのご依頼で、白井専門員がガイド養成講座の講師を務めました。全13回のうちの1コマで、テーマは「ジオパーク専門員に学ぶ地球の活動の伝え方」です。地形図のパズル、火山実験、地層ボトル、地形模型づくりなど、詳しく説明するのではなく相手が自ら発見できるようにと萩ジオパークで工夫してきた手法を、実際に体験していただきながら紹介し、ワイワイと楽しみながら知っていただきました。

講座の後は、参加者の皆さんと現地（然別湖周辺）を巡りました。萩ジオパークの笠山にも風穴がありますが、こちらは何倍もの広がりを持つ風穴群があり、温度も低く、地下には永久凍土もあるそうです。同じ風穴でもこれほど違うのかと驚かされ、こちらで学んで帰る出張になりました。



10月～11月上旬の予定

※本紙の編集時点で協議会事務局が把握している情報のうち、協議会主催・共催の行事やジオパークの運営・推進に関わる公的な会議・取組等を中心に掲載しています。

- 萩の大地の恵みでつくるオリジナルハーブティーづくり体験 10月3日（土）16:30～ 場所：笠山山頂展望台「鳶ノ巣カフェ」 内容：萩の植物やハーブを使ってオリジナルハーブティーを作り、地域の自然や人とのつながりを感じる 主催：萩ジオパーク推進協議会 参加：事前申込要（詳細は協議会HP参照） 協力：TotGarden
- 日本ジオパーク再認定審査現地調査 10月31日（土）～11月3日（火・祝） 内容：萩ジオパークが日本ジオパーク加盟認定以来、2度目の再認定審査として、調査員が萩ジオパークを訪れエリア内各地を調査（詳細は次号で紹介の予定）
- 日本ジオパークネットワーク中四国近畿ブロック研修会 11/5（木）～11/6（金） 場所：隠岐ユネスコ世界ジオパーク 内容：萩ジオパークをはじめ同ブロック所属のジオパークの関係者が集まり、一定のテーマや課題について論議や研修を実施 主催：隠岐ユネスコ世界ジオパーク
- 弥富フィールドラボ 11月8日（日）9:30～ 場所：弥富交流促進センター（集合） 内容：萩市弥富地区の「龍が通った道まつり」の中核企画として、地域を流れる新市川の生き物を参加者が自ら調査 主催：置ヶ淵交流事業実行委員会、萩ジオパーク推進協議会 参加：事前申込要（詳細は協議会HP参照）